

2023年3月期 第3四半期

# 決算説明資料

2023年2月  
日本ケミコン株式会社

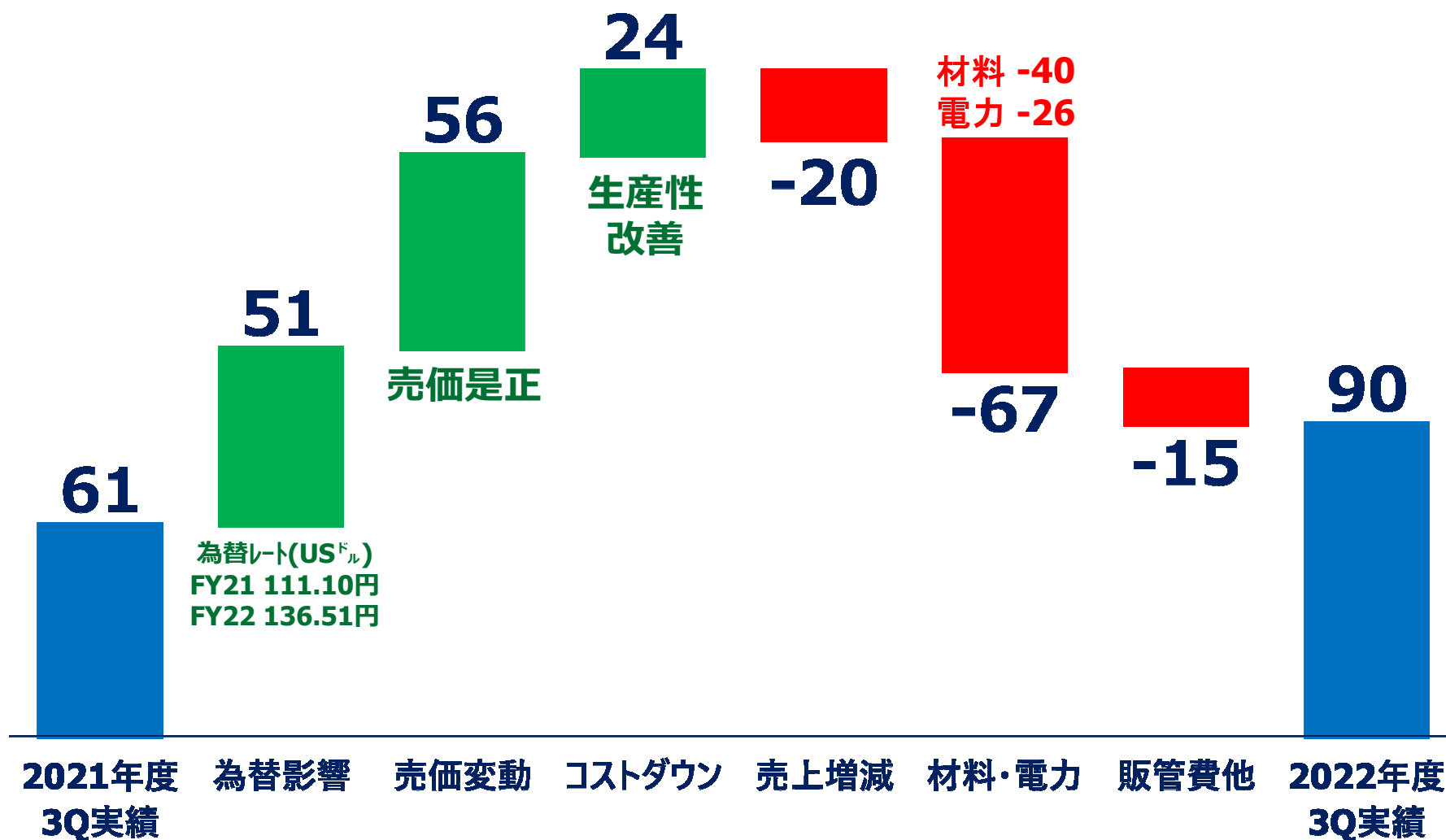
## 2022年度 第3四半期実績（前年同期比）

単位：億円

	2021年度	2022年度	前年同期比	
	第3四半期累計	第3四半期累計	増減	増減率(%)
売上高	1,024.9	1,198.9	+174.0	+17.0
営業利益	60.9	90.1	+29.2	+48.0
売上高比率	5.9%	7.5%	+1.6pt	-
経常利益	57.3	78.0	+20.6	+36.1
売上高比率	5.6%	6.5%	+0.9pt	-
親会社株主に帰属する当期利益	▲136.7	20.5	+157.2	-
売上高比率	▲13.3%	1.7%	+15.0pt	-
設備投資	43.2	51.3	+8.1	+18.7
減価償却費	43.7	45.0	+1.3	+2.9
研究開発費	30.6	32.4	+1.8	+5.8
平均為替レート USドル（円）	111.10	136.51	22.8%の円安	
ユーロ（円）	130.62	140.59	7.6%の円安	

## 2022年度 第3四半期累計 営業利益増減内容 - 前年同期比 -

単位：億円



## 構造改革による業績改善効果（2022年度第3四半期累計実績）

効果額：億円

70

60

50

40

30

20

10

0

2022年度第3四半期進捗率は、計画比80%。

■ 固定費削減 ■ 生産性向上 ■ 新商品

62

25

11

25

49

17

11

21

進捗率67%

ハイブリッドコンデンサが車載市場以外に採用が進む

進捗率99%

第3四半期でほぼ計画達成

進捗率84%

設備投資の選択と集中による投資効率向上

2022年度計画

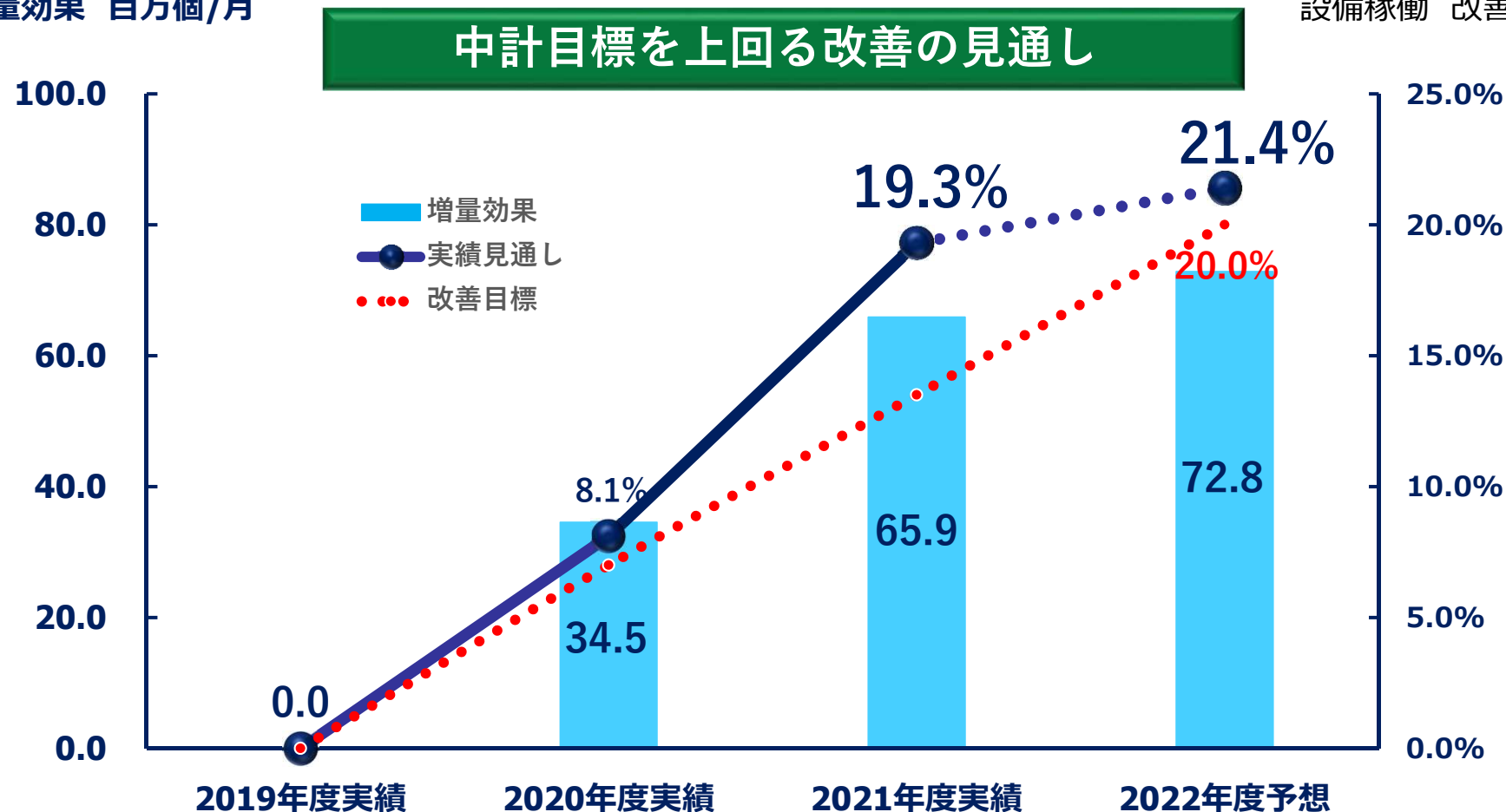
2022年度  
3Q累積実績

## 構造改革による業績改善効果（2020～2021年度実績、2022年度予想）

OEE※<sup>1</sup>TEEP※<sup>2</sup> & パーヘッド向上による増員・増備なき増量対応

増量効果 百万個/月

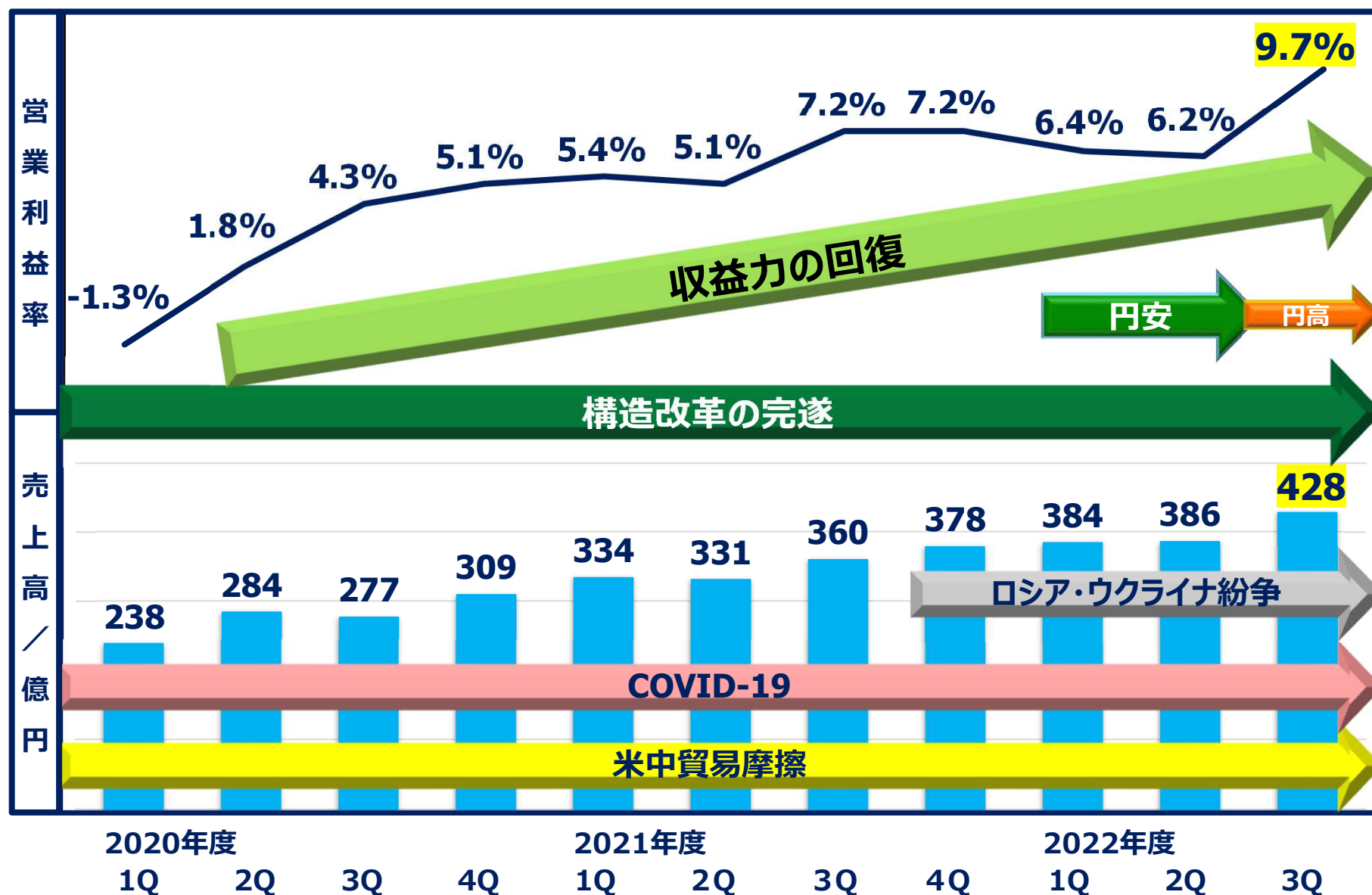
設備稼働 改善率



※<sup>1</sup>OEEは、Overall Equipment Effectiveness の略。（総合設備効率）

※<sup>2</sup>TEEPは、Total Effective Equipment Performance の略。（設備機器総合有効生産力）

## 売上高と営業利益率推移（2020～2022年度実績）



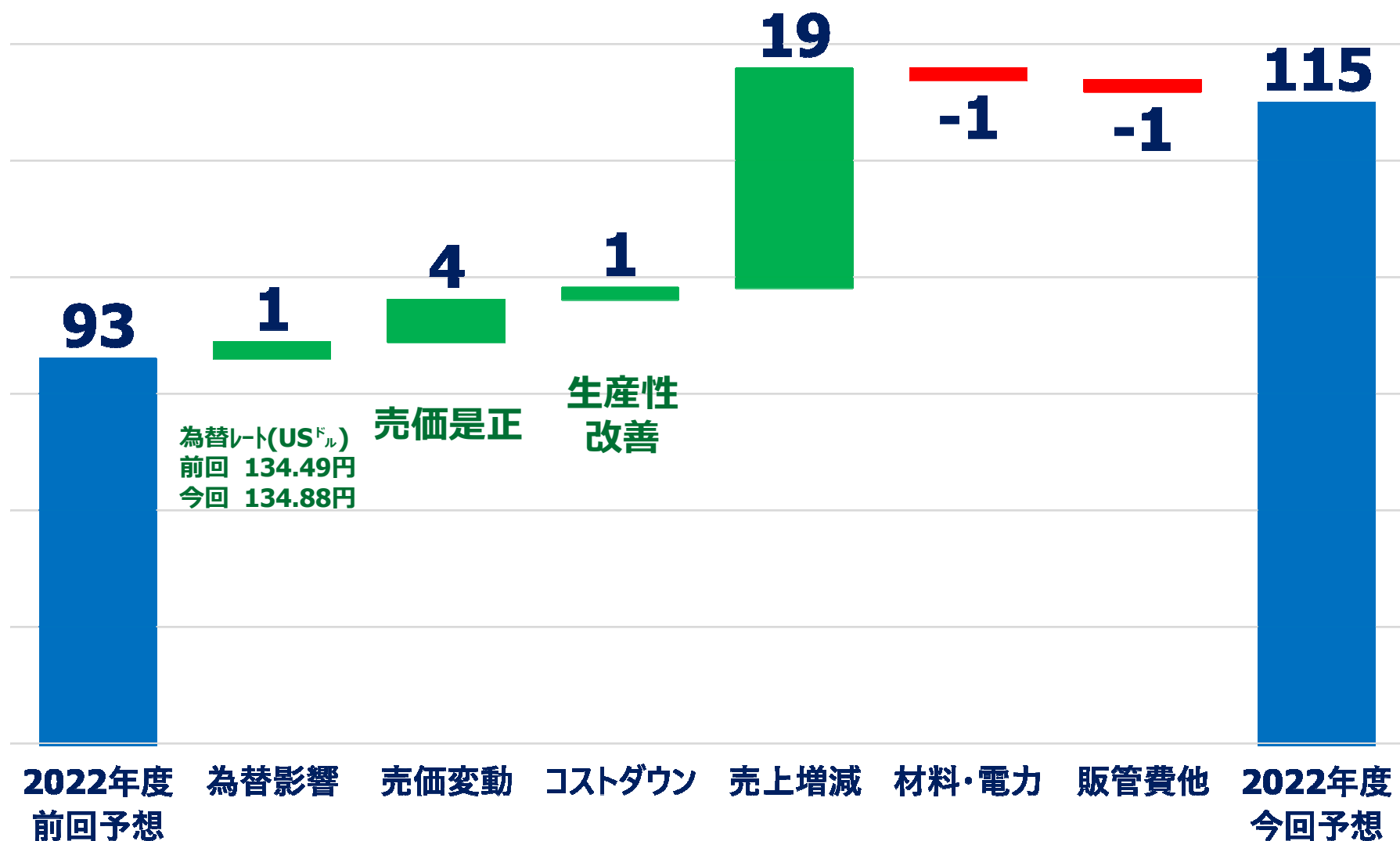
## 2022年度 通期業績予想（前回予想比）

単位：億円

	2022年度					
	前回予想	3Q累計実績	4Q予想	今回予想	増減額	増減率(%)
売上高	1,550.0	1,198.9	401.0	1,600.0	+50.0	+3.2
営業利益	93.0	90.1	24.8	115.0	+22.0	+23.6
売上高比率	6.0%	7.5%	6.2%	7.2%	+1.2pt	-
経常利益	88.0	78.0	16.9	95.0	+7.0	+7.9
売上高比率	5.7%	6.5%	4.2%	5.9%	+0.2pt	-
親会社株主に帰属する当期利益	30.0	20.5	14.4	35.0	+5.0	+16.6
売上高比率	1.9%	1.7%	3.6%	2.2%	+0.3pt	-
設備投資	85.0	51.3	33.6	85.0	0.0	0.0
減価償却費	60.0	45.0	14.9	60.0	0.0	0.0
研究開発費	45.0	32.4	11.5	44.0	▲1.0	▲2.2
平均為替レート USドル（円）	134.49	136.51	130.00	134.88	0.2%の円安	
ユーロ（円）	138.37	140.59	140.00	140.44	1.4%の円安	

## 2022年度 通期予想 営業利益増減内容 - 前回予想比 -

単位：億円





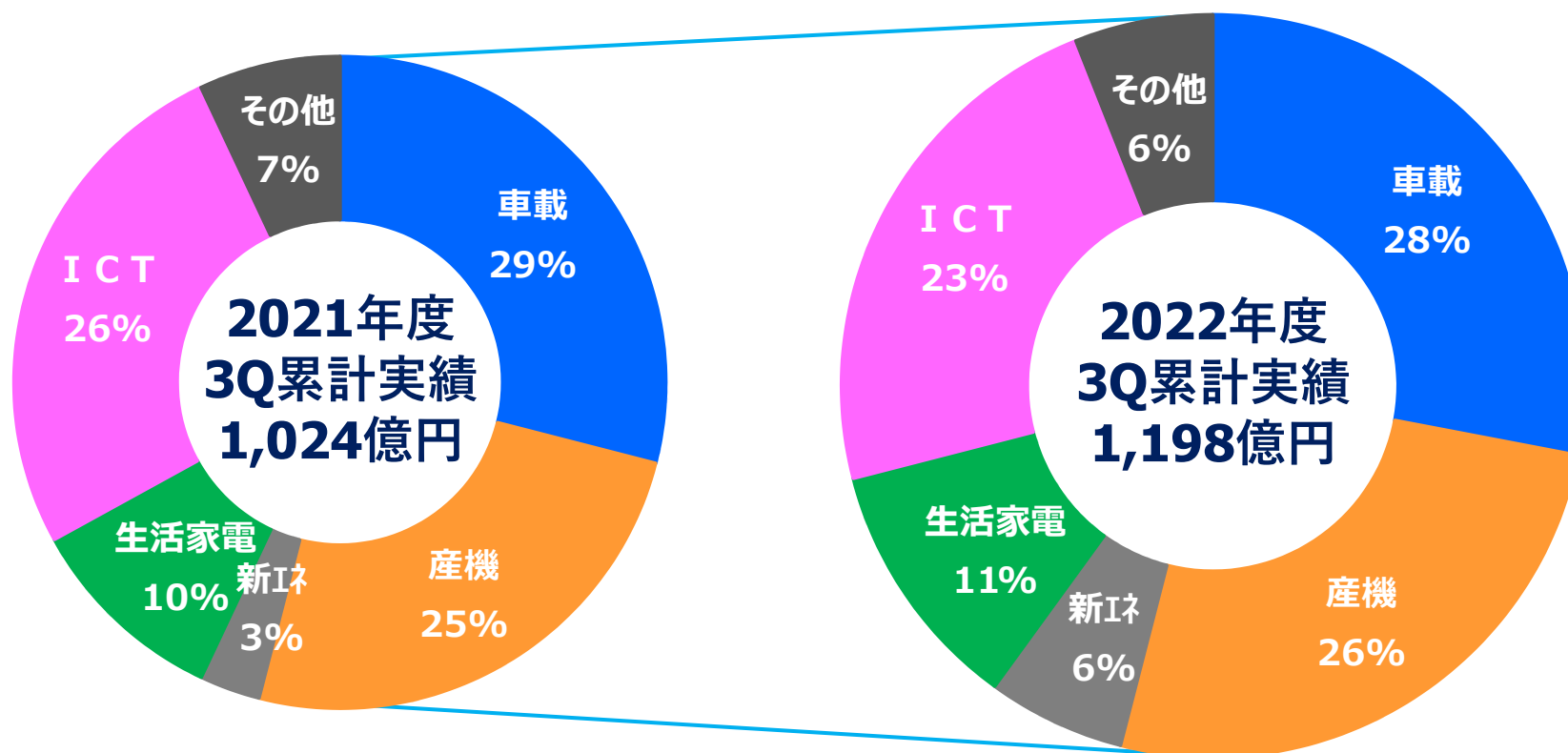
## 2022年度 製品別通期売上予想（前回予想比）

単位：百万円

製品	2022年度						
	前回予想	3Q累計実績	4Q予想	今回予想	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
アルミ電解	135,000	104,298	35,601	139,900	87.4	+4,900	+3.6
内 導 電 性	21,000	15,802	5,597	21,400	13.4	+400	+1.9
DLCAP™	3,600	3,105	994	4,100	2.6	+500	+13.8
セラコン・バリスタ	3,600	2,993	908	3,900	2.4	+300	+8.3
機構その他部品	3,500	3,168	932	4,100	2.6	+600	+17.1
コンデンサ材料	7,200	4,438	1,262	5,700	3.6	▲1,500	▲20.8
その他	2,100	1,895	405	2,300	1.4	+200	+9.5
合計	155,000	119,899	40,101	160,000	100.0	+5,000	+3.2

## 2021年度3Q累計、2022年度3Q累計 市場別売上構成比

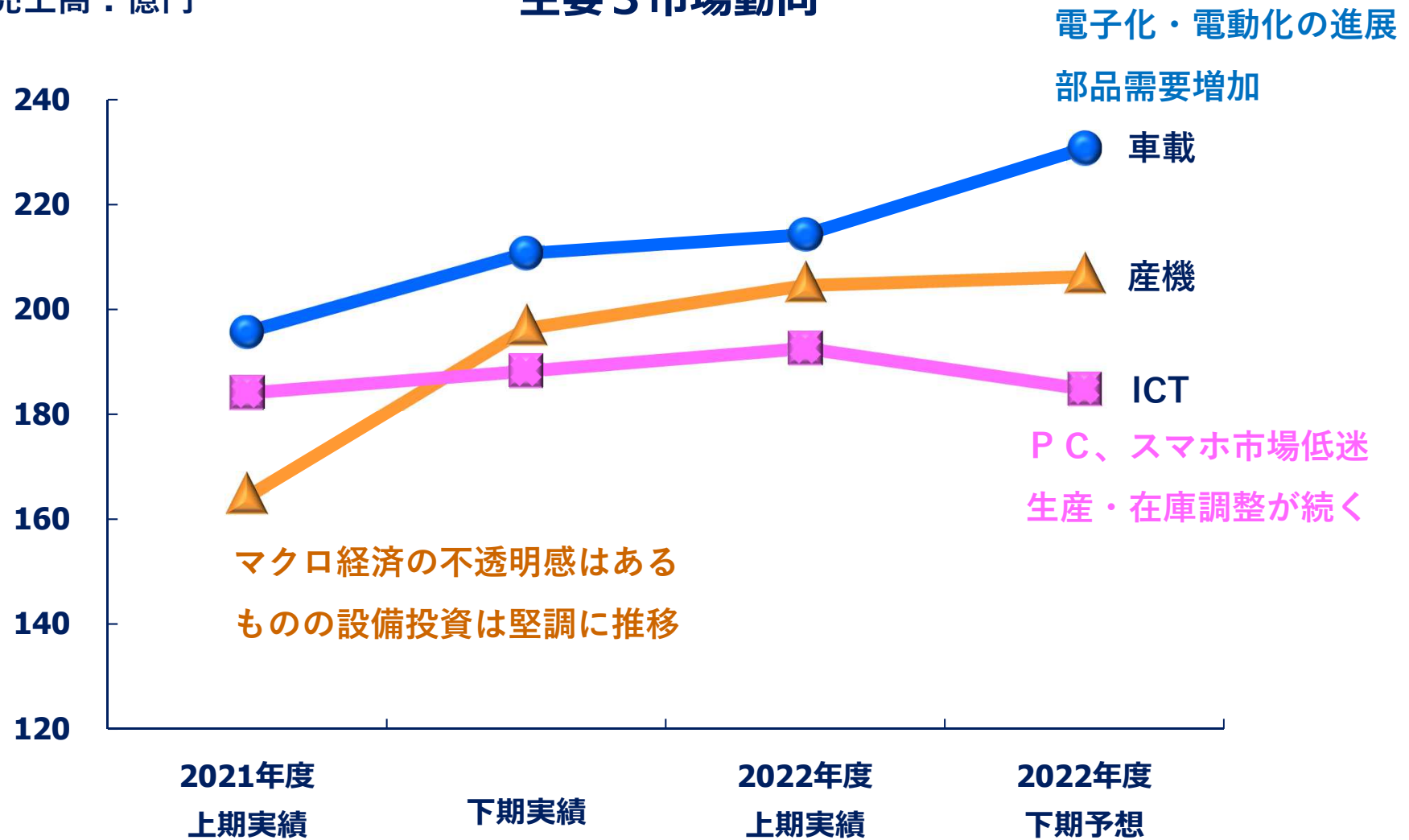
全世界的にカーボンニュートラルへの動き ⇒ 新エネルギー市場が伸張  
P C、スマホの需要減により、I C T市場は生産調整、在庫調整が継続



## 主要市場予想 2021年度実績 ～ 2022年度実績予想

売上高：億円

### 主要3市場動向



今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

〔注意事項〕

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合があることをご承知おき下さい。

また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承願います。

投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。

本資料の内容に基づいて投資された結果、万一、何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承願います。